



\*\*\*\*\*

「広島学」の明日

\*\*\*\*\*

グローバル化は、我々地方に色々な基準を押し付けてきた。そして、我々は、グローバル化していくことが自己目的となっていたのではないだろうか。しかし、よくよく考えてみれば、最初からグローバルなものなど存在しない。いつも初めは、ローカルなのである。明日のグローバルは、ローカルのなかにのみ存在しているのである。その意味で、ローカルな「広島学」には可能性がある・・・はずである。

しかし、どこでもやっている「町おこし」としての「広島学」にすぎなければ、面白いかもしれないが、同じ「学」でも「雑学」に終わってしまうだろう。また、「広島」を音で連想するだけに終われば、時に安易な「平和」しか残らない(広島固有の平和は、それだけでも、世界で唯一のものだが・・・)。また、様々な角度から「広島」を分析してみせたとしても、グローバルの一部としてのローカルを表現したことに過ぎないだろう。

広島各大学では、現在、授業として「広島学」を体験学習型など多様な試みをもっておこなっている。その目的も「出口論」と直結したものや、教員の研究を還元したものなど、多様である。研究面では、県立広島大学等による「宮島学」のような総合的な研究成果もでてきているが、「広島」全体を包含するまでには至っていない。ひるがえって「広島」自体を見るならば、都市としての広島の中核性は失われつつあり、広島県全体も不景気によって元気がない。元気な広島発の企業もあるが、広島県全体からみれば「点」でしかないようにも見える。

ならば、「広島学」とは、どのようなものであるべきなのだろうか。まず、第一に、広島の固有性を世界に発信できるものであり、第二に、地域とともに生きる学問でなければならぬだろう。そして、第三に、地域に根ざす各大学の共有財産であるべきである。教育としては、広島発の教養教育であり、研究としては、広島という地域に根ざした創造性ゆたかなものでなければならぬ。

そして、地域における元気の源は、若者である。その若者の教育機関である各大学が、それぞれの個性を持ちながら、産官学ならぬ地域・学・人の連携を構築し、若者の発想力も活用して、地域に還元する提言機関としてのシンクタンクをバーチャルなかたちでも作るのはどうだろうか。そこで、徹底的に広島の固有性を洗い出し、広島発のグローバルスタンダードを構築する。そうなれば、「広島学」は、本当の意味で「学」となるように思うのだが。

(広島大学文書館長・教授 小池 聖一)

-----  
進 捗 状 況  
-----

<後期遠隔授業>

広島工業大学の授業を最後に今年度の遠隔授業が無事に終了いたしました。前期は三次高校47名、後期は三次高校・庄原格致高校・向原高校・日彰館高校計117名の高校生が遠隔授業を受けました。来年度の授業については、2月に高校の希望を調査します。高校と大学の双方から意見をいただきながら、より

良い授業が提供できるように努めていきます。

<バスを利用した公開講座 A>

12月6日に三次高校2年生14名、1年生3名が広島修道大学で講義を受け、図書館を見学した後に「広島キャンパスフェスティバル'09オープンキャンパスブース」で開催されている進路相談プログラムに参加しました。大学職員や学生に直接質問をする姿もあり、また学生体感ブースでは各大学のサークル体験をし、大学生活を味わえたのではないのでしょうか。

<ひろしまカレッジ>

11月28日(土)エリザベト音楽大学において広島修道大学落合先生の司会で「広島学の現状と課題」情報交換会を行いました。初めに「広島発!夢の通り道」と題し広島放送(株)代表取締役社長佐藤伊佐雄さんに講演をしていただきました。その後、各大学からの事例報告会(「地域学を考える」)を開きました。6大学、広島県学事課及び中国新聞からあわせて20名のみなさんが参加され、広島学の現状を知る上で有意義な交換会でした。

12月12日(土)13日(日)の両日、教育ネットワーク中国主催講座「これからの教師像2009」を広島国際大学国際教育センターで開催しました。アンケート調査では、98%の方が満足していると回答されていました。どの先生の講義も大変わかりやすいためになる、真面目に聞いていて雰囲気良かった、大学の授業では学べないことが多く聞けた、採用合格者の話はとても役に立つなどたくさんの感想を書かれていました。参加者は116名でした。(事務局)

-----  
「 会 議 報 告  
-----

12月24日(月)

第9回戦略的大学連携運営委員会(広島市青少年センター)17時~

-----  
「 お 知 ら せ  
-----

◆教育ネットワーク中国企画講座 ぱれっとカレッジ「環境に優しい暮らし方」

日程:2010年2月6日(土)13日(日)

場所:広島YMCAホール本館4階407号室

受講料無料・定員30名(先着順)受講生を募集しています。

詳しくは<http://www.enica.jp/02learning/2009/03kankyau/index.html>

◆ひろしまカレッジフォーラム

「学生による大学と地域の交流フェスティバル」(仮題)を開催いたします。

日程:2010年2月22日(月)13:00~16:00

場所:エリザベト音楽大学 ザビエルホール

詳しくは後日案内いたします。

\*\*\*\*\*

<発行:問合せ先> 教育ネットワーク中国

〒730-0011 広島市中区基町10-3(広島県庁内 自治会館3階)

TEL 082-209-8044 FAX 082-209-8045

E-mail office@enica.jp URL <http://enica.jp/>

※等幅(固定幅)フォントでご覧ください。

※お預かりする個人情報、適切に管理し、承諾なく上記の目的以外に利用すること、第三者に開示することは一切ありません。

※内容の無断転写を禁止します。